



## E-03 腫瘍性肺疾患

はいのりょうせいしゅよう

# 肺の良性腫瘍

### 【概要】

多くのイボやホクロは、皮膚にできる良性腫瘍の例です。私達は経験的に、これらの良性腫瘍はそのまま放っておいてもがんにならないことを知っています。同じように、肺にも良性腫瘍ができることがあります。種類は実に様々ですが、比較的多いものは、過誤腫と呼ばれる腫瘍で約半数を占め、そのほかに硬化性血管腫、軟骨腫、脂肪腫、平滑筋腫などがあります。これらの良性腫瘍は、一般的に無症状で、大きくなる速度も遅く、ほかの臓器に転移することはありません。しかし、ゆっくりではあっても発生部位で次第に大きくなる場合があります。

### 【疫学】

肺がんに比べて少ないのですが、一方、種類が豊富です。大部分は過誤腫（約50%を占めます）ですが、そのほかに硬化性血管腫、軟骨腫、脂肪腫、平滑筋腫などがあります。

### 【症状】

急速に広がるのが少ないため、症状が出現することは稀で、多くの場合、検診や他の病気の検査中に胸部エックス線やCTで偶然発見されます。しかし腫瘍ができた部位によっては、「せき」や「たん」の原因になったり、空気の通る道（気管支）を圧迫して肺炎などを起こすことがあります。

### 【検査】

胸部エックス線画像や胸部CT検査で発見されます。しかし胸部エックス線やCTでは、その画像上の特徴だけでは肺がんなどの重大な病気と見分けがつかない場合もよくあります。エックス線画像だけで肺良性腫瘍と診断することもあります。肺がんなどの経験豊富な医師（呼吸器専門医など）の判断が必要です。気管支にできた腫瘍は、気管支鏡と呼ばれる内視鏡で腫瘍細胞の一部を採取して顕微鏡で悪性か良性かを判断します。肺の奥の方にできた腫瘍は、気管支鏡検査の他に、CT

## 肺の良性腫瘍

良性腫瘍	良性腫瘍	悪性腫瘍
発育速度	遅い	早い
転移	しない	する
主な症状	多くは無症状	早期は無症状
	せき・たん・喘鳴（ヒューという呼吸の音）など	せき・血痰（けつたん）・やせ・痛みなど
レントゲンの特徴	辺縁明瞭・均一な腫瘍	辺縁不整・不均一な腫瘍
代表的なもの	過誤腫 奇形種 硬化性血管腫	肺がん 胸膜悪性中皮腫

\* 上記の特徴には、がん種、個人により差があることに注意

### 資料1



やMRIなどを行って腫瘍の形や中身を評価します。近年、PETと呼ばれる検査が普及し、1cm以上の大きさの腫瘍であれば、ある程度、良性と悪性の見分けが可能になってきています。

#### 【治療】

良性腫瘍の治療法は原則的に手術です。ただし、手術をするのは、周囲圧迫のために呼吸機能が低下したり、特定の場所に肺炎が繰り返し生じる場合などです。悪性腫瘍(がん)と区別できない場合には手術により診断と治療を同時に行うことがあります。明らかに良性腫瘍であるとわかっている場合で、合併症や高齢などの理由で手術が

できない時には、内視鏡の届く場所にできた気管支腫瘍に対して内視鏡で腫瘍を取り除くこともあります。また良性腫瘍であることがはっきりしていて、増大傾向がなく、しかも無症状の場合には経過をみるだけで十分です。放射線治療や薬物療法は効果がないとされています。

#### 【生活上の注意】

特に注意することはありませんが、増大してこないか、かかりつけ医を持って、定期的に検査してもらいましょう。手術後は、胸痛が続くことがあります。殆どは再発ではなく、手術時の傷が神経を刺激するためといわれています。

MEMO

日本呼吸器学会では学会ホームページにて「市民のみなさま向け」に様々なコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください!



## 呼吸器の病気

Respiratory disease

『疾患別』に症状や、診断・治療方法を解説しています。

## 呼吸器

Q&A



『症状から』対応方法などをQ&A形式でお答えします。

※ここに書かれている内容は、あくまで一般的なものであり、必ずしも貴方の病気にあてはまらない事もありますので、この内容を参考にし、呼吸器の専門医の診察を受けてください。

日本呼吸器学会  
ホームページ

[www.jrs.or.jp/](http://www.jrs.or.jp/)